

花の里づくりの会

第4号会報 2008年4月1日発行



善教寺

善教寺は、もと天台宗で、瑠璃光山 法華経寺と称し、薬師如来を本尊としていたが、慈海法師(明応九年=1500年歿)の代に浄土真宗に転派した。

蓮如上人が関東に二回来訪された折、多摩川の洪水で川留めされ、善教寺に宿泊されて、その時の住職慈海法師を教化し、それで浄土門に帰依したといわれている。

兼帯所が武州には築地別院を加えて十有り、第五番に都筑郡新羽村にあるのが善教寺である。武蔵野の小さな門徒寺にすぎないが、綾樺造りの山門があり、鐘楼を兼ねており、風格があって美しい。記録では、鐘楼再建の時、寄付の樺材が多く集まり、従来のものより大規模のものとなった。その為、ねたまれて訴えられ処罰されそうになったが、近隣の同宗派の後ろ盾により、本山の兼帯所との御墨付きもあつたので処罰されることもなかったらしい。当時は、山門建立は、朝廷、幕府、本山より許可を要した。

ごあいさつ

早いもので本会も発足して五年目を迎えようとしております。会員の皆様にはおかわりなくお過ごしの事とご拝察申し上げます。

おかげ様で会の運営、植栽事業も皆様のご理解とご協力により概ね計画通り進める事が出来ております。又植栽した品々もほぼ順調に生育しており、二～三年先には皆様と見学会を行いたいと考えております。

本年の新しい取り組みとしては、神奈川県立新羽高等学校入口の道路添いに埋設されております、貯水槽周辺(高校用地)の雑草を取って、きれいにならないかと、道行く人や、地域の方からお話がありました。そこで、学校側と話し合った結果「防草シート」にて覆いをした所に、生徒さんが草花等をプランターに植えて置く事になりました。年二～三回の植え替えとなりますが、今春より行いたいと思っております。

このように、地域と学校との連携により、少しでも街がきれいになって行く事は、誠によろこばしい事と思えます。

これからも皆様のご支援とご協力を頂きながら明るい街づくりに取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

花の里づくりの会 会長 中山 宏



19. 6. 10 懇親会開催風景

平成 19 年度の植栽及び事業実績

◆光明寺◆

カルミヤ 7本

◆善教寺◆

日本スイセン 300本

◆市立新羽小卒業記念樹◆ 73回

シデコブシ 2本

平成 20 年度の植栽及び事業予定

◆善教寺◆

ハクウンボク

ネムの木

ムクの木

ムラサキシキブ

テッポウユリ

キキョウ

◆光明寺◆

ヒガンバナ 白、黄色、赤

沈丁花

キツネのカミソリ

ブッシュ柑

日本水仙・ラッパ水仙

◆西方寺◆

ヒガンバナ 白、黄色

ツバキ 各種

◆専念寺◆

境内整備の予定があるので、終わり次第モミジを中心として植える

◆市立新羽小卒業記念樹◆ 2本 74回

◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備の花の苗の協力、年2回

◆新羽駅周辺街づくり協議会◆

地区計画におけるポケットパークへの花の苗の協力、年2回

◆杉山神社◆

本オガタマ 2本（南杉山神社、北杉山神社）

新羽丘陵公園での卒業記念植樹



No. _____

卒業記念植樹

ぼく達 六年生は、幸せだと思つ。本当に
卒業記念植樹など出来ないのに、地域の
々が、ぼくらのために、こんなすばらしい機
会を作ってくれたおかげで卒業前に最高の思
い出が出来ました。ぼく達が植えた、シデコ
ブシが大きくなって立派になるのに負けない
ように成長して、一人前の大人になりたいと
ぼくは思います。

山崎 慎也 一組

B4 29×26 3×6

No. _____

記念植樹

ぼくは 今日、卒業記念の木を植えました。
シデコブシを植えるために中山さんが教えて
くれた、すい終おりました。記念樹も植える
六も協力して掘ったのでおかげです。それ
に、木もあげたので、しっかりと木が育つて
くねるといいな。と思います。これから時々、
トルネード公園行って、シデコブシの成長を
見たいと思います。

布施 元希 一組

B4 29×26 3×6



No. _____

初めての記念植樹

松本 未来 二組

今日は、はかなが体験する事の出来た。私達の卒業記念の体験する事が出来ました。私達の卒業記念のために、地域の方々もたくさん参加して下さいました。今日植えたシデコブシが大きくなっている時には、私達はどのくらい成長しているのでしょうか。私達が大きくなった時に、シデコブシを見に来て、今日の事を思い出したいです。

高橋 野乃佳 二組

No. _____

No. _____

初めての記念植樹

松本 未来 二組

今日初めて記念植樹をやって、いろいろな思い出が生まれました。その中でも私は、みんなが協力して植樹をしたことが一番心に残っています。初めて大変だ。たけど楽しく植樹をすることが出来ました。今日は、木々に心に残る一日になりました。それに、また新しい思い出の場所が出来て良かったです。

No. _____



シデコブシの花が大きく育つ頃

新羽小学校長 渡部洋久

記念樹というと、子どもの頃に見たテレビ番組から流れていた歌を思い出します。「桜の苗が 大きく育つ頃 ほくらはみんな 大人になるんだ ……」 どんなドラマだったかは忘れてしまいましたが、この歌の歌詞だけはしっかり記憶しています。きっと、このテレビ番組を見た頃に卒業を迎えようとしていて、その時の心情と歌詞がぴったり合っていたからだと思うのですが。

今年、新羽小学校を卒業する子どもたちには、シデコブシが贈られ、卒業を前にした3月5日(水)に、植樹がおこなわれました。「大きくなったら、この木の前に集まろう。それまで、辛いこと悲しいこと色々あるかもしれないけど、しっかり耐えて頑張ろう。木は、何も言わないけど、君たちの成長する姿を見つめ続けてくれる。」この木を贈ってくださった方々は、記念樹にそんな思いをこめているのではないのでしょうか。

すてきな記念植樹を企画し、毎年続けてくださっている花の里づくりの皆さんに心から感謝いたします。

卒業記念植樹

今年も地域の皆さまのご協力のもと3回目の記念植樹が実施されましたことを深く感謝申し上げます。

子どもたちの手で植えられたシデコブシの木。春には、きれいな花を咲かせてくれるそうです。最近では、この新羽もマンションやショッピングセンター等で緑が少なくなってきました。この植樹をとおして子どもたちには、緑を守る大切さを学ぶきっかけになってくれればと思います。

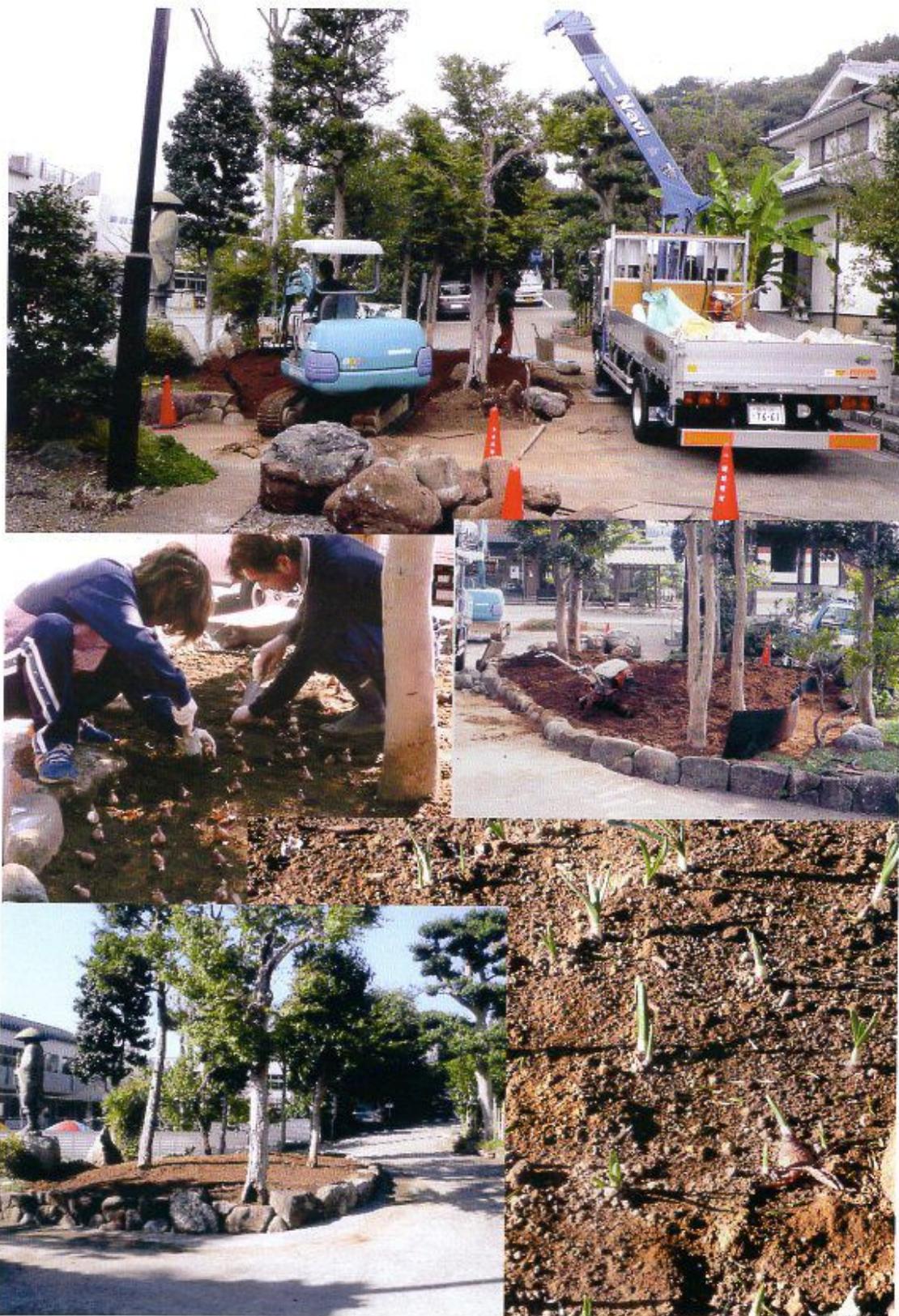
新羽小学校PTA会長 佐藤 健二



光明寺



善教寺 日本スイセン



西方寺 ヒガンバナ



エゴノキ 平成 18 年度新羽小学校卒業記念樹木



シデコブシ 落葉樹 平成 19 年度新羽小学校卒業記念樹木



小形でも花つきがよく、草やかな春の彩りを演出する庭木として、古くから人気があります。

12～18枚の細い花弁を垂れ気味につけた姿を、玉串やしめ縄につける四手（しで）にたとえ、姿がコブシに似ることからシデコブシの名がつけました。

分布の広いコブシと異なり、三重、愛知、岐阜の丘陵地の湿地に自生地が限られ、日本の絶滅危惧植物の一つとして『レッド・データブック』にも記載があります。

花色は白から紅色まで変化があります。また、小形で生長が遅いので、管理は容易です。

本会の趣旨に賛同して参加いただける会員と新たな候補地としての寺社仏閣を、募集しております。ご希望の方はお申し出下さればご説明させていただきますので、会長宅までご連絡下さい。

花の里づくりの会 会報第四号 **2008**年**4**月発行

発行者 花の里づくりの会 会長 **中山 宏**

お問合せ先 045-541-5578 (事務局 中山宏 宅)